

8 理解啓発機能

理解啓発機能には、地域の誰もが発達に支援や配慮が必要な子どもの特性や保護者の気持ちを理解し、共に考え、共生社会を目指す役割があります。市では、発達支援団体と協働して理解啓発のための事業等に取り組んでいます。

8理解-1	児童発達支援センターの設置	11 新規
途切れのない発達支援の拠点となる「児童発達支援センター」の役割や機能を検討する。		
関係機関	子ども家庭支援センター・障害福祉課・健康推進課・教育支援課	
他機能での再掲	1相談-11 2成長-3 3情報-5 4家庭-7 5現場-1 7コーデ-6	

8理解-2	保育園及び幼稚園への障害児の受入	19 継続
保護者が保育を必要としている障害児や発達支援の必要な乳幼児については、継続して保育園の入園を行う。受け入れについては、保育環境、人的配置、人材育成の体制等、各保育園の状況に応じて合理的配慮のもと行う。また、幼稚園への障害児や発達支援の必要な幼児の入園については、幼稚園が子どもの状態と保護者の意向を踏まえた上で、保護者の合意を得て判断する。		
関係機関	保育課	
他機能での再掲	2成長-10 4家庭-8	

8理解-3	小・中学生の居場所の確保	20 継続
小・中学生が、集団として自由な発想で遊びを楽しみながら人と人とのつながりを深めたり、コミュニケーション能力を伸ばしたりできる居場所として、児童館や学習館等を継続的に利用していくことができるようにするとともに、発達に支援や配慮を必要とする子どもたちへの小グループ活動等を通じた療育の視点を取り入れたプログラムの研究を行う。		
関係機関	子ども育成課・生涯学習推進センター	
他機能での再掲	2成長-11 4家庭-9	

8理解—4	子どもと保護者の愛着形成のための支援	21
		継続
<p>子どもと保護者の関係づくりで基本となるのは親子の愛着形成となっている。0歳児向けの親子プログラムなど、愛着形成を促すための手法の実施について検討するほか、子どもが1歳になる前までに、親と子の間で関係が構築できるよう、乳幼児健診や子育てひろばに来所した親子を対象に、わかりやすい手段による情報提供について検討する。</p>		
関係機関	子ども家庭支援センター・子育て推進課・健康推進課・児童発達支援事業者	
他機能での再掲	2成長—12 4家庭—10	

8理解—5	インターネットによる情報提供	40
		継続
<p>子どもの発達支援に関する情報を広く周知するためには、インターネットを活用することが重要となる。また、子どもの発達に悩みがあっても心理的負担により、子ども未来センターや市内小児科医療機関での相談につながらない場合もある。保護者の心理的負担を軽減するためにも、インターネットを活用しての情報提供を進める。</p>		
関係機関	子ども家庭支援センター・児童発達支援事業者	
他機能での再掲	4家庭—18	

8理解—6	発達支援に関する講座	43
		継続
<p>子ども未来センターで実施している子育て支援啓発事業や地域学習館などで実施している市民対象講座の中で、発達支援に関する講座の開催に継続して取り組む。</p>		
関係機関	子ども家庭支援センター・生涯学習推進センター	
他機能での再掲	4家庭—21	

8理解—7	発達支援団体との連携	44
		継続
<p>保護者が自分の子どもの発達について考える場合、専門家との相談だけでなく、同じ悩みを持つ保護者とのやり取りがきっかけとなることもある。また、発達に支援や配慮が必要な子どもを持つ保護者だからこそ発信できることも多い。このため、保護者の支援や理解啓発において、発達支援団体が市とともに連携協働して活動できるよう支援する。</p>		
関係機関	子ども家庭支援センター	
他機能での再掲	4家庭—22	